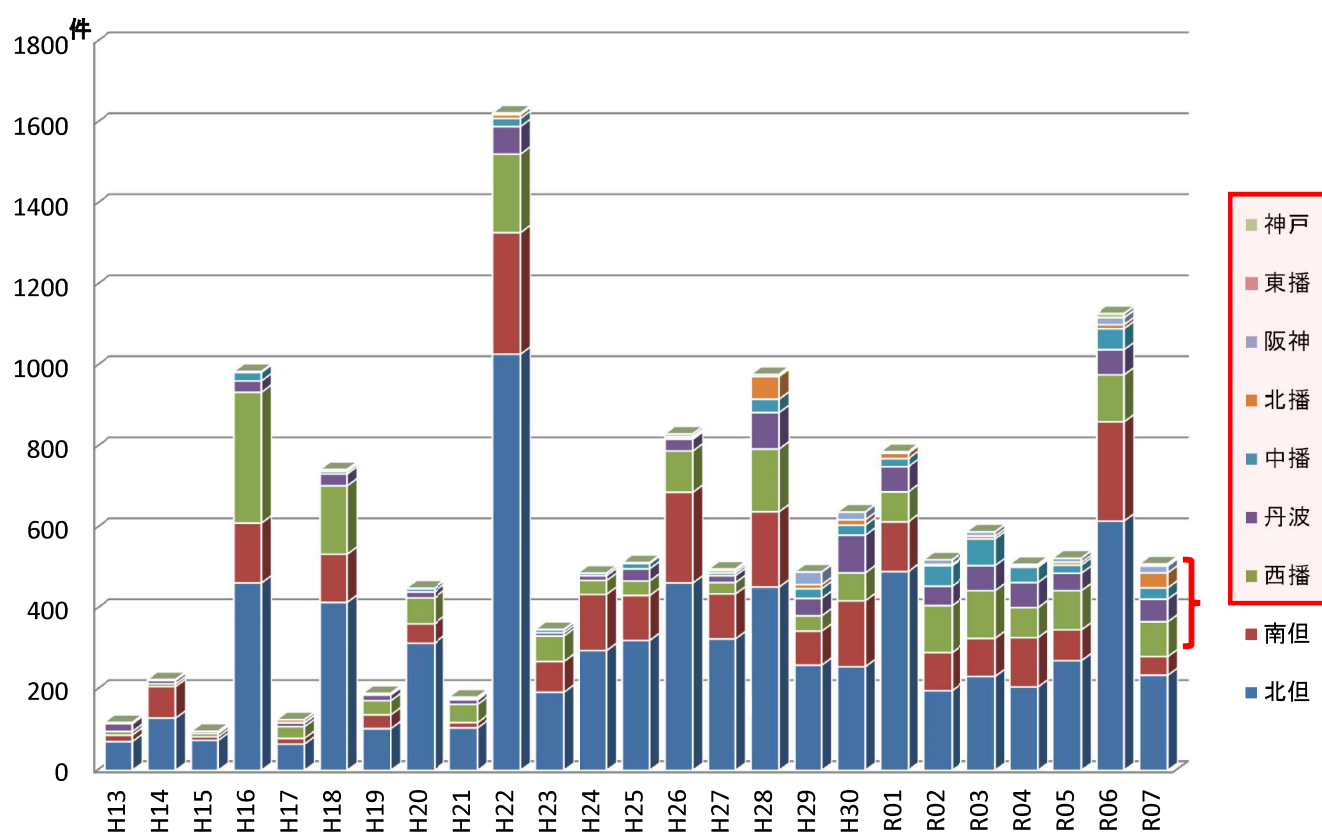


兵庫県におけるツキノワグマ管理について

兵庫県におけるツキノワグマ管理 について

兵庫県森林動物研究センター

地域別の目撃・痕跡情報の推移

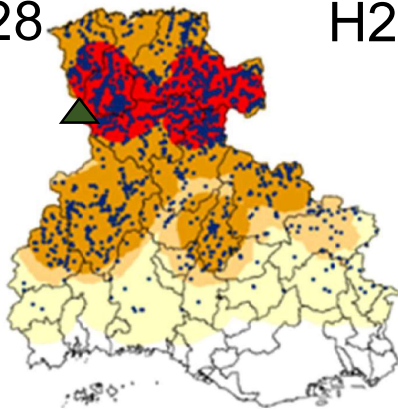


但馬以外の地域が占める割合が増加傾向

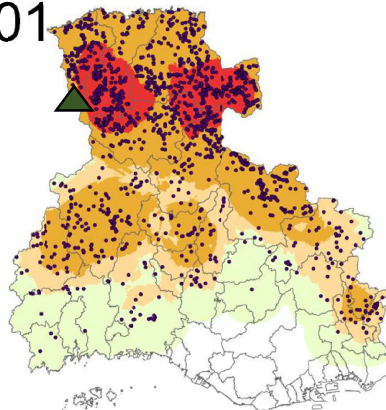
目撃・痕跡情報の分布(密度)と推移



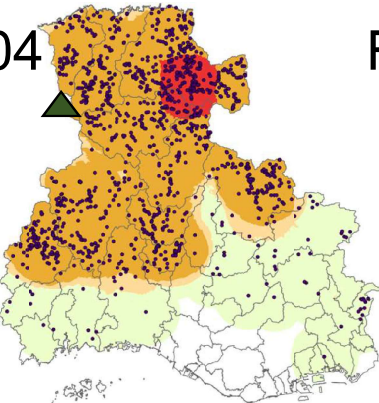
H26-28



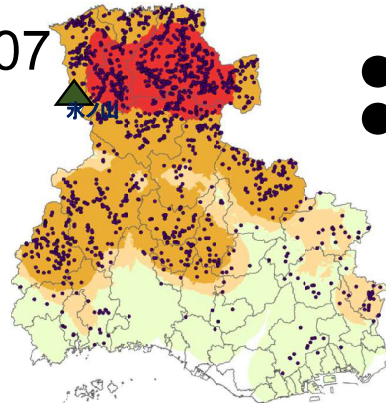
H29-R01



R02-04

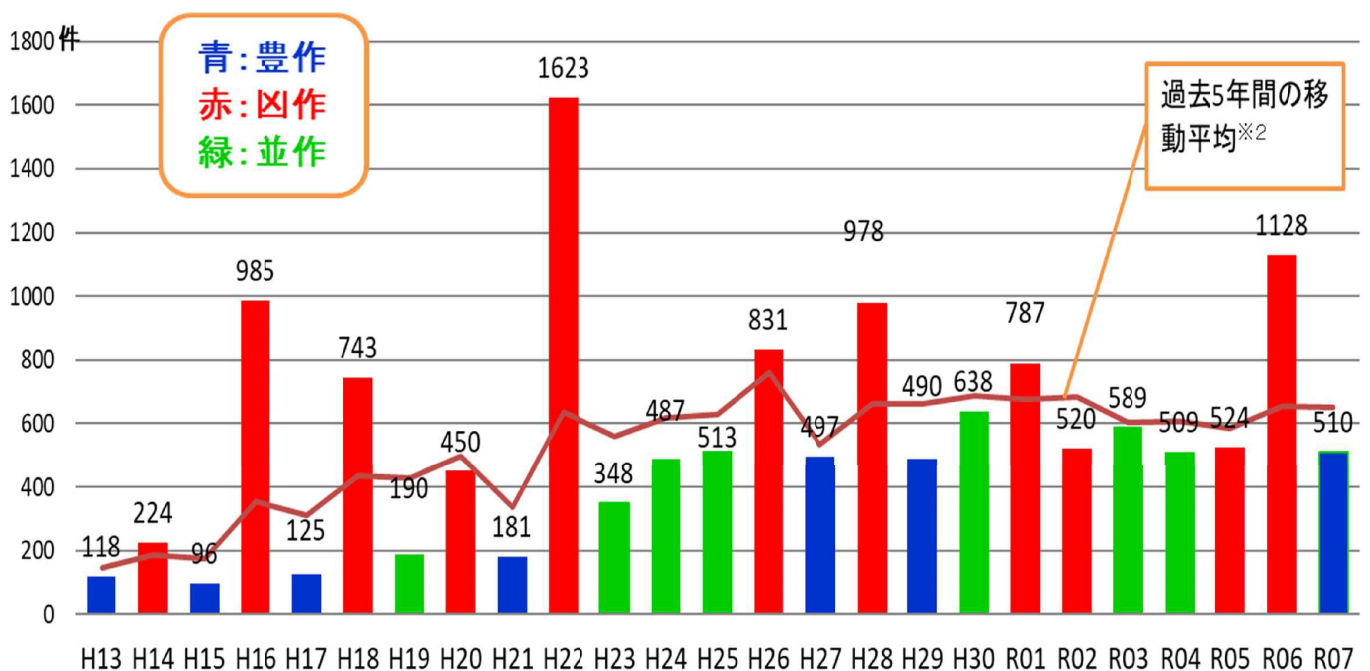


R05-07



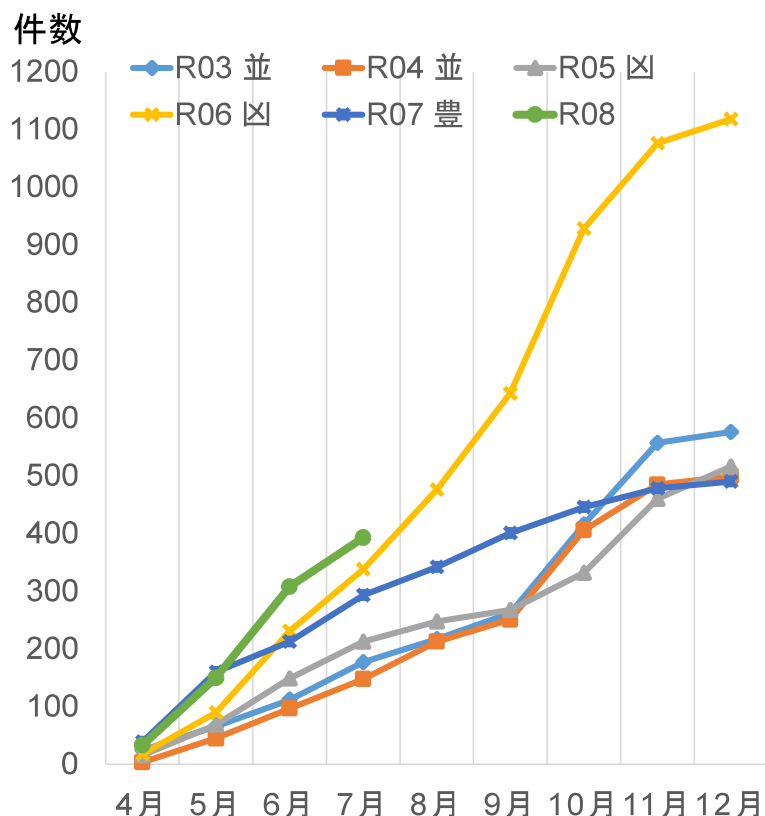
- 県北部地域は高密度
- 県南部地域に拡大
- 神戸市北区
- 三田市
- 姫路市北部
- たつの市など

目撃・痕跡情報数と豊凶調査結果の推移



目撃・痕跡報告数の月別推移(R3～R8)

※R8は7/31時点



R6年度

- ・春から増加し続け、H22に次ぐ目撃・痕跡報告数を記録

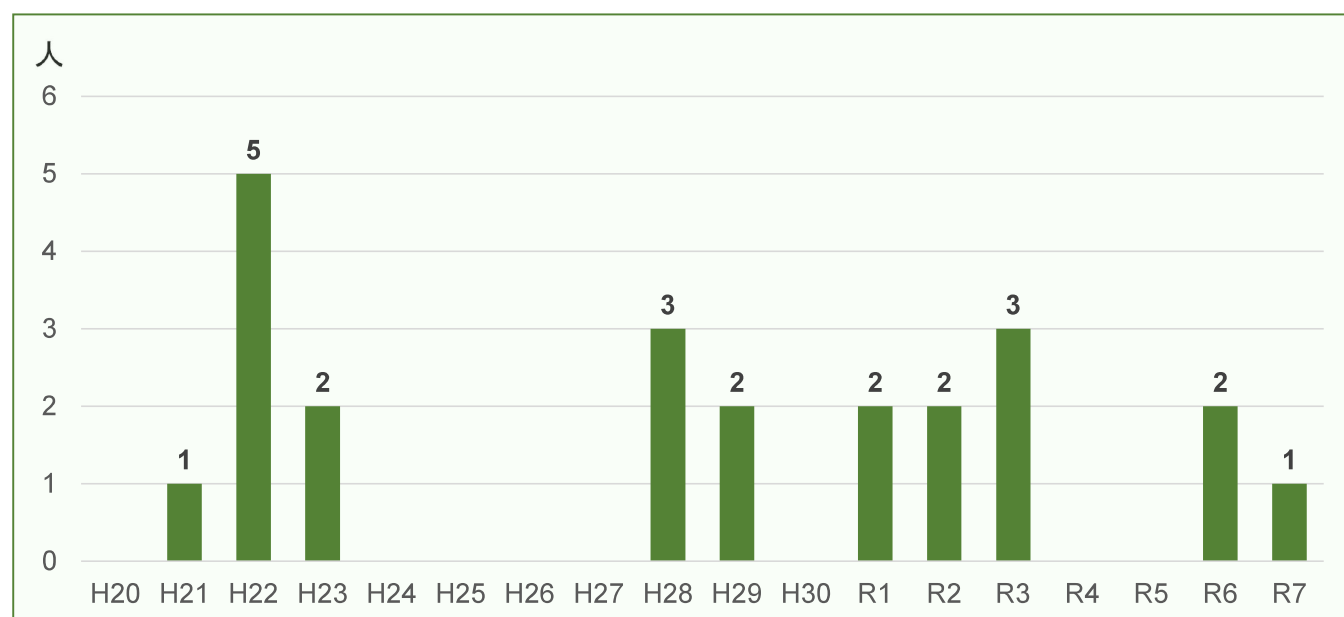
R7年度

- ・春の報告数は多かったが、夏以降の報告は落ち着いた

R8年度(4～7月)

- ・県民のクマへの関心の高まりもあり、例年以上の目撃・痕跡報告数となっている

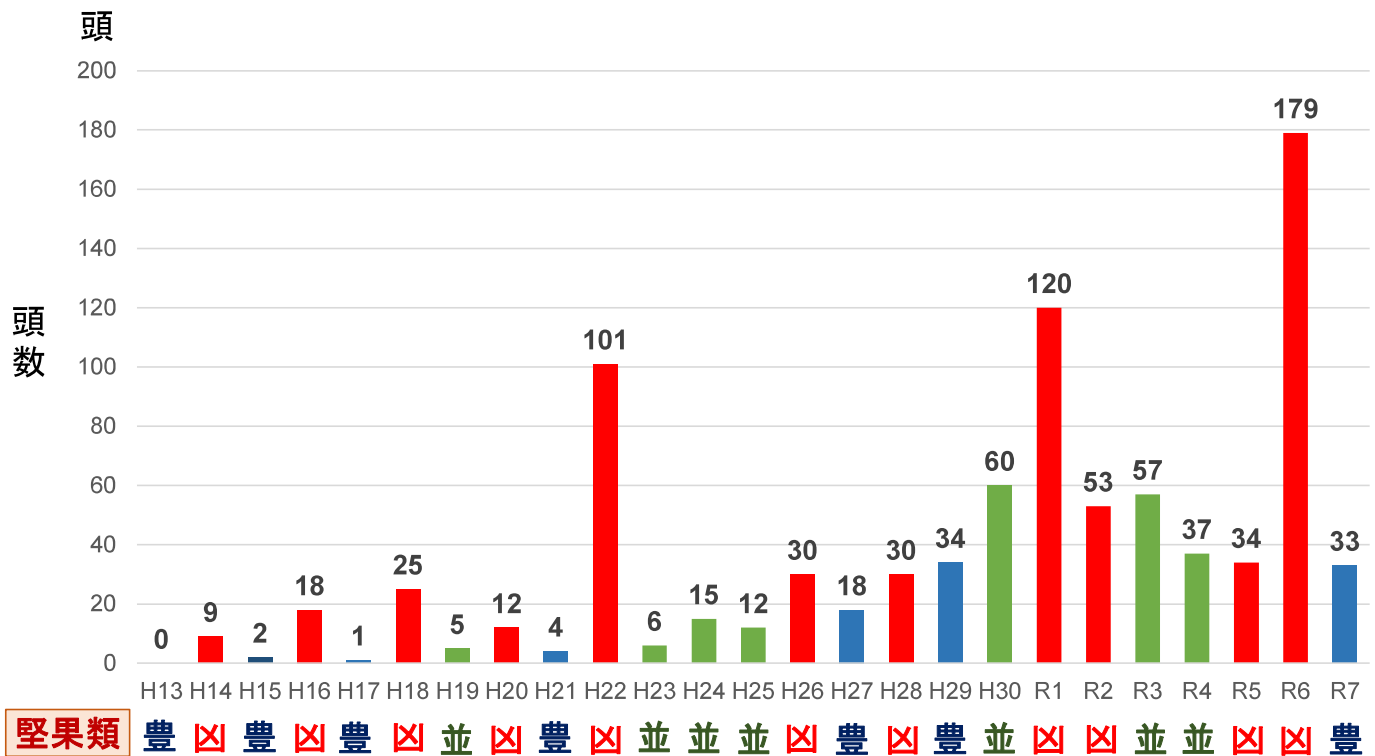
人身事故の発生状況



R7年度の概要

- ・人身事故 1件(豊岡市)
- ・農作業から帰宅途中の男性(77)が襲われ、左手と右脚付け根をかまれた(5/25)

有害捕獲頭数の推移



ツキノワグマ狩猟実績の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
狩猟期間	11/15～12/14				狩猟禁止		11/15～12/14		狩猟禁止	
捕獲頭数	4頭	1頭	5頭	0頭			2頭	5頭		

第2期ツキノワグマ管理計画

令和8年度事業実施計画の概要

1 管理計画の目標

- ① 人身被害ゼロ
- ② 被害対策の充実強化による人の生活圏への出没防止
- ③ 「東中国地域個体群」及び「近畿北部地域個体群西側」の健全な維持

2 方策

- ① 個体数管理
- ② 被害管理
- ③ 生息環境管理

第2期ツキノワグマ管理計画

個体数管理の概要

各個体群の推定生息数(中央値)に応じた管理を実施

推定生息数の中央値	狩猟捕獲	有害捕獲
400頭未満	禁止	可能な限り殺処分しない
400頭以上 800頭未満	禁止	原則殺処分 (各個体群の県内生息数の8%を上限)
800頭以上	禁止を解除	原則殺処分
	狩猟捕獲と有害捕獲の総捕獲数管理 (各個体群の県内生息数の12%を上限)	
	—	人との軋轢がある場合のみ (各個体群の県内生息数の3%上乗せ可)

東中国地域個体群の個体数管理

推定生息数中央値: 710頭

推定生息数の中央値	狩猟捕獲	有害捕獲
400頭以上 800頭未満	禁止	精神被害、人身被害および農林業被害の防止のため実施⇒原則殺処分 県内生息数中央値 425頭の8%を上限＝ <u>34頭</u>

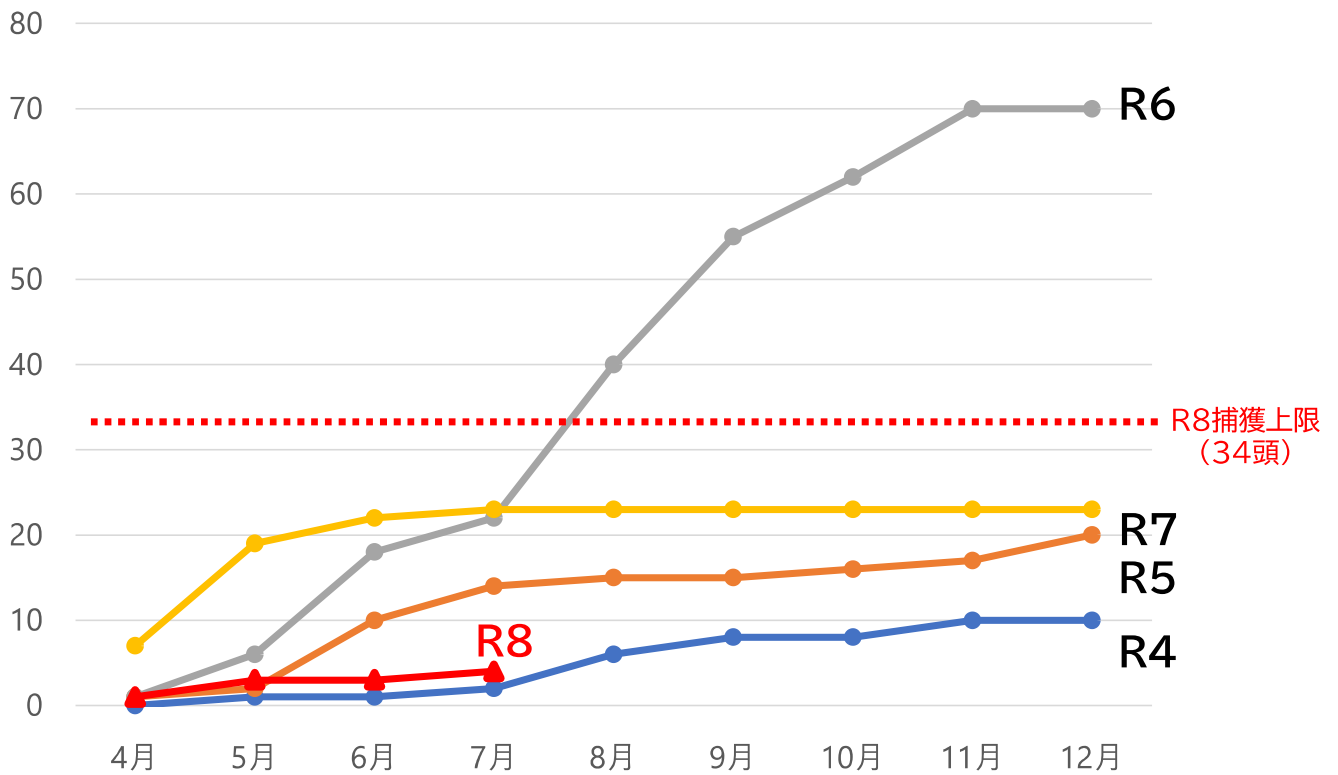
近畿北部地域個体群西側の個体数管理

推定生息数中央値: 837頭

推定生息数の中央値	狩猟捕獲	有害捕獲
800頭以上	条件を付した上で 禁止を解除	精神被害、人身被害および農林業被害の防止のため 実施⇒原則殺処分
	総捕獲数管理を実施(狩猟捕獲数＋有害捕獲数) 県内生息数中央値242頭の12%を上限＝ <u>29頭</u>	
	—	人との軋轢がある場合のみ (各個体群の県内生息数の3%上乗せ可)

有害捕殺頭数の推移(R4～R8 東中国地域個体群)

※R8は7/31時点



有害捕殺頭数の推移(R4～R8 近畿北部地域個体群西側)

※R8は7/31時点

